

プログラミング基礎

Eclipseの使い方

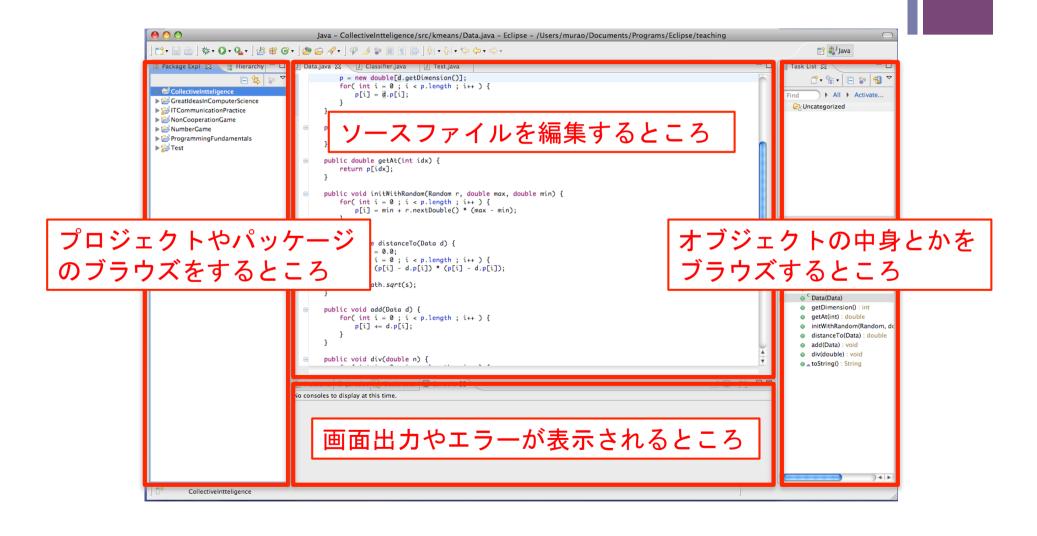
+ Eclipse

- Javaをはじめとするプログラミング言語用の統合開発環境
 - ■「プログラムの作成→コンパイル→実行→間違い修正」のサイクルが手軽にできる
- ■フリーソフトウェア
- Windows, Mac, Linux用など多くのプラットフォームで動作

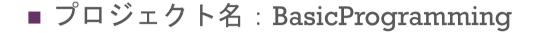
Eclipseによるプロジェクト管理

- Workspace=複数のプロジェクトが含まれる管理単位
- プロジェクト=1つ又は関連する一連のプログラムの管理単位
- パッケージ=プロジェクトに含まれるオブジェクトの管理単位
 - パッケージ名は小文字の英字から始まる英数字
- クラス=オブジェクト
 - クラス名は大文字の英字から始まる英数字

Eclipseのメイン画面



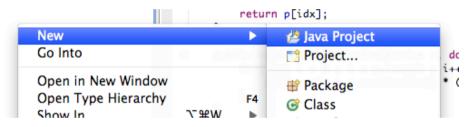
+ 猫プログラムを管理してみよう



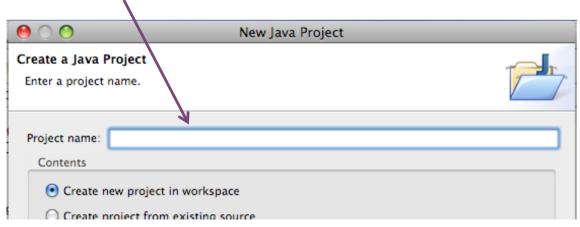
■ パッケージ名: neko

新規 Java プロジェクトを作る

- Package Explorer(左側のところ)の空白で右クリック
 - 「New」 → 「Java Project」を選択

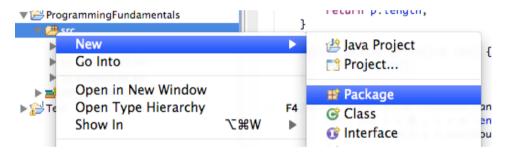


■ ダイアログでプロジェクト名を入力して「Finish」

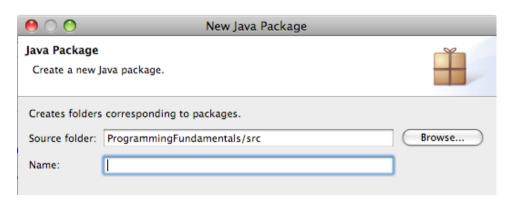


+ 新規パッケージを作る

- プロジェクトの「src」アイコン上で右クリック
 - 「New」 → 「Package」を選択

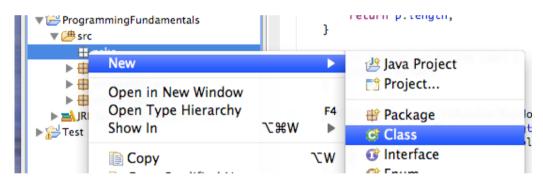


■ パッケージ名を入力して「Finish」



+ 新規オブジェクトを作る

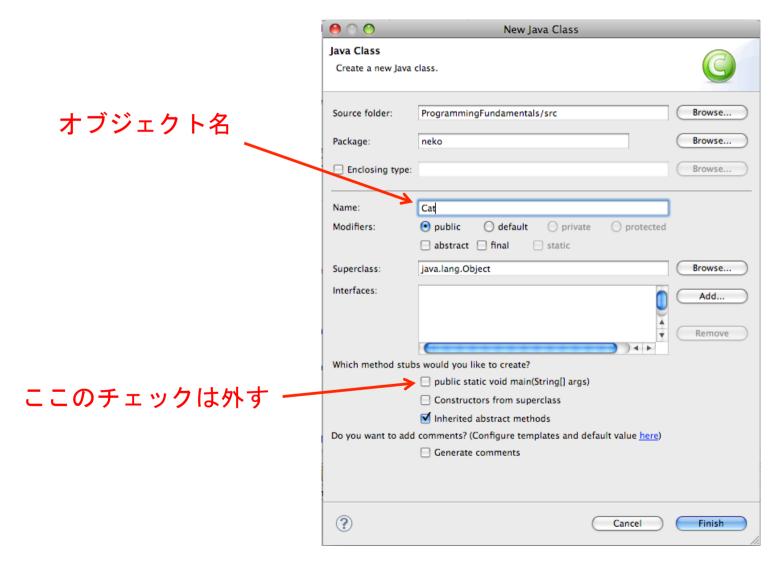
- パッケージ上で右クリック
 - 「New」→「Class」を選択



(次ページに続く)

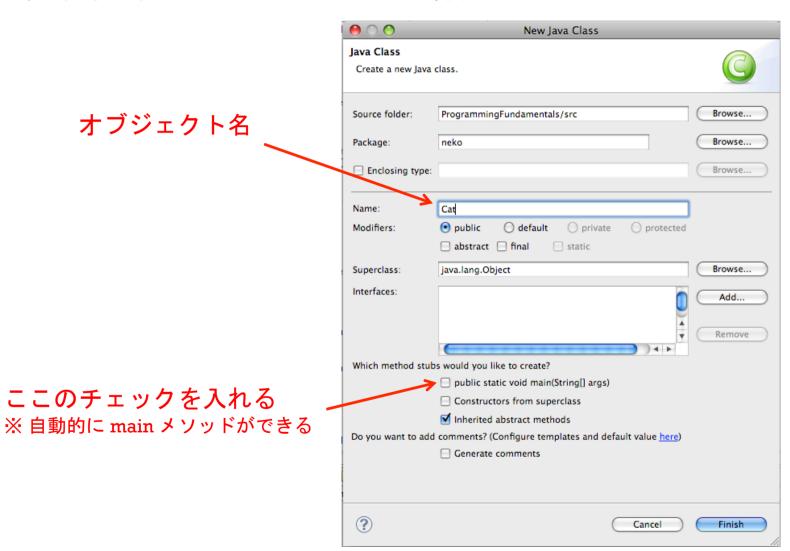
新規オブジェクトを作る

(普通のオブジェクトの場合)



新規オブジェクトを作る

(実行開始用オブジェクトの場合)

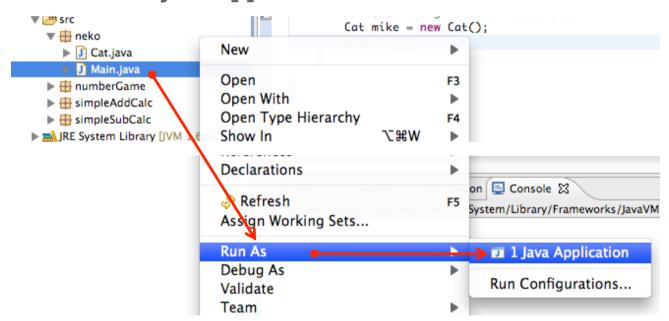


+コンパイル

- 保存すると自動的にコンパイルされる
 - エラーがあると赤色の×印が付くので修正して保存

+ 実行

- 実行用オブジェクトを右クリック
 - 「Run As」→「Java Application」を選択



■ うまく実行できれば「コンソール」(下の部分)に出力される